



市民の声を市政に反映
杉森ひろゆき
 市議会議員ニュース

杉森弘之後援会広報委員会発行
776号 2019年9月24日
 〒300-1235 牛久市刈谷町1-41-8
 TEL・Fax: 870-0335
 携帯: 090-5587-7693
 Mail: sugimori@max.hi-ho.ne.jp

障害者相談・就労支援

入間市

牛久市議会教育民生常任委員会は8月19～20日、朝霞市、入間市、国立市を視察訪問しました。視察の内容を順次報告しますが、今回は入間市の障害者相談・就労支援センターです。

朝鮮からの渡来文化豊富

埼玉県入間市は、埼玉県南西部に位置する人口約14万7千人、面積44.69km²で、1958年に航空自衛隊入間基地が発足し、1966年に武蔵町を入間長に改称し、即日市制施行しました。狭山茶の主産地として有名で、奈良時代の前内出窯をはじめ多くの窯跡があり、須恵器の生産も活発で、埼玉県の広範な地域に朝鮮からの渡来人が移住し、先進技術を普及させていったことが偲ばれます。

まず相談支援センターから

入間市では、2008年に市内の3法人に委託し、障害者相談支援センターリボンを市役所内に開設。さらに生活と就労の支援を総合的に行うことが、障害者等の自立と社会参加の促進につながるため、2009年に市内の1法人に委託し、障害者就労支援センターリボンを市役所内に開設しました。

業務内容は多岐にわたり、職業相談、就職準備支援、職場開拓、職場実習支援、職場定着支援、離職時

福島原発事故避難者の今

終の住処を奪われて



福島原発事故による放射線被ばくから避難して東京に在住し、福島原発被害東京訴訟原告団団長として活躍している鴨下裕也さんを招き、原発いらない牛久の会は9月、「終の住処を奪われて」の上映会と講演会を開催し、杉森議員も会員として参加しました。

鴨下さんは事故当時、国立福島工業高等専門学校物質工学科准教授で、夜10時に原発3km圏の避難指示が出た段階で、圏外だが避難を決断し、以後、子どもは学校になじめず、転居と転校を繰り返しています。いわき市の自宅は、1万Bq/kg超の放射性の誇りが残存していますが、政府はこういった危険地域に帰還を強制しています。

の調整及び離職後の支援、事業主への支援、等があります。原則4人の就労支援員がおり、月～金、8時半～17時15分が業務時間となっています。

市の非常勤職員に積極採用

登録者のうち、男性は女性の約2倍で、身体障害は12%、知的障害は37%、精神障害は46%。圧倒的に知的障害、精神障害の方の希望が多いことがわかります。入間市としては、市の非常勤職員にも障害者の採用を強化しているとのことです。



「従軍慰安婦はテマ」というテマ

歴史の事実に向を向けず、自国の歴史を美しく飾り立てることが国を愛することであるかのように騒ぎ立てる風潮が、マスコミをはじめ蔓延している。参考になる新聞記事を①②③の3回に分けて紹介する。(今回は④)

歴史学者 吉見義明氏に聞く

毎日新聞 8月15日

設置も、管理も、利用も軍

では慰安婦はどのように集められたか。おおよそ三つの形があります。①軍が選んだ業者が、女性の親族にお金を貸す(前借金)かわりに、女性を慰安所で使役する「人身売買」②業者が酒席の世話係とか、看護婦のような仕事などとだまして連れて行く「誘拐」③官憲や業者が脅迫や暴力で強制連行する「略取」——です。

植民地である朝鮮半島では①や②が多い。③は、中国や東南アジアなどの占領地で官憲による強制連行が行われたことを示す裁判資料や証言があります。

「慰安婦問題は業者がやったことだから軍、つまりの国の責任はないじゃないか」と言う人がいます。でも考えてみてください。そもそも、軍が慰安所制度を作ったんです。管理・統制も軍です。利用するのも軍人・軍属だけです。女性たちも、軍が選定した業者が軍の要請で集めたのです。

さらに見逃せないのは、①～③で人を国外に連れ出すことは、当時も今も犯罪行為(刑法226条違反)だということです。

業者が連れてきた女性はまず、慰安所に入る前に兵站(へいたん)部や憲兵が、どういう経緯で来たのかを調べます。この時点で軍は①～③を巡る犯罪行為を把握したはずですが、不問に付して、慰安所に拘束した。さらに言えば、女性は軍用船などで戦地の慰安所に送られましたが、これも軍の許可が必要です。こうした点を見れば、日本の責任は明ら

かではないでしょうか。

兵士による強制連行も

朝鮮半島以外の、中国や東南アジアでは①、②のほか、③の軍による強制連行もありました。中国でも山西省や海南島で女性が日本軍兵士らに拉致されたことは最高裁で事実認定が確定していますし、インドネシアでもオランダ人女性が官憲に強制連行され、軍の慰安所に入れられる事件があったことが確認されています。フィリピンでも軍による強制連行を訴えて、元慰安婦の女性たちが裁判を起こしています。

新聞広告を読めたか

では自由意思で慰安婦になった人はいるのでしょうか。朝鮮では、少数ですが「慰安婦募集」の日本語の広告が現地の新聞に出たことがあります。ただ、当時の朝鮮の女性の識字率は8%(30年朝鮮国勢調査)だし、経済的に貧しい家庭の少女たちが、新聞を読むことができたか疑問です。広告は業者向けと見る方が合理的です。

ただ、私は強制連行の有無など、女性はどのようにやって来たのかということは副次的な問題で、核心は女性が「性的奴隷」としか呼べない状況に置かれたことだと思います。



毎日新聞が所蔵する「慰安所に到着直後に検診に向かう朝鮮人の女性」とされる写真＝撮影日・場所不詳